

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

第54号

2012年2月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

第11期修了式&交流会

第11期コープ災害ボランティア養成講座修了式が1月21日(土)に行われました。炊き出し訓練の後、修了式及び交流会が行われました。

修了式 修了証明書・皆勤賞授与



東日本大震災を受けボランティアの意識や震災に対する意識が高まっています。ここで得たことを地域で活かして下さい。



18名の受講生が修了証明書を手にしました。



皆勤賞は8名の方が受賞されました。記念品としてレスキューフーズ1日分が贈られました。



東京都生協連
竹内専務理事

修了証明書を受け取る受講生

皆勤賞と記念品を受け取る受講生

ボランティア

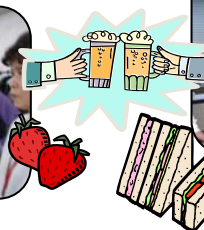


大矢副幹事より歓迎の挨拶

コープ災害ボランティア養成講座は私たちの町で震災が発生した際、出来ることを取り組む『きっかけ』です。この講座は今回が終わりではなく、**スタートです!**今後も様々な活動をお知らせします。一緒によろしくお願いします!

交流会

4回の短期間講座でしたがお疲れ様とコープ災害ボランティアネットワークの会員となった歓迎の交流会を行い、親睦を深めました。



講座を終えて 受講生の感想より

- ☆福田さんのお話はとてもわかりやすく、心に響くものでそのお話を聞くだけでも参加してよかったと思いました。ここで体験したこと、みなさんと話したことを万一の時には役立つように、また地域でも何かできたらと思います。
- ★一口にボランティアといってもなかなか奥深いものだと思い知らされた講座ではあった。まち歩きを通じて自分の居住区域を観察する習慣が自然と身についてきたように思う。現在居住区域の2Km四方については充分把握している。
- ☆トゲトゲしい社会の空気に生きづらさを感じています。ささやかな事からその様なものを変えられれば良いなと思い、養成講座に参加しました。新しい事を学ぶ機会もあり気づきもあり良かったです。
- ★福田さんのお話は人をひきつけ上手だなと感心!まち歩きは都心部や低い土地のところなど、防災の視点で色々歩いてみたいです。交流会のときボランティアに行った方が体験談を語ってくださり皆で聞き入りました。
- ☆まち歩き体験に参加できなかったのは残念でしたが、勉強になりました。体験できることは楽しくて良いですね。自分の地域に帰って買い物に行く道などで、今回学んだ事を思い起こして考えてみたいと思います。
- ★初めて見聞きする事が多く勉強になりました。知って実践できれば良いと思います。
- ☆どの回もとても勉強になりました。『一番強いライフラインは人とのつながり』というのが心に残りました。色々な枠を超えて繋がるのが大切と実感しました。
- ★どの講座もとても良かったです。ボランティアの立場で受けた講座でしたが逆に被災者の立場になることもあります。両者の立場を理解することがとても大切なことだと思います。
- ☆座学をはじめ、まち歩き、シミュレーション、炊き出しと全て貴重な講座でした。学んだ事を広め役立つことが出来たらと思います。
- ★災害の色々な話を詳しく勉強できました。少しでも頭に刻み感心をもって行きたいと思います。



炊き出し訓練



小雪交じりの冷たい雨が降る天候の中、コープ災害ボランティア養成講座の最終回では炊き出し訓練を行いました。講義の後、実際にアルファ化米、かまどを組み立てハイゼックスを使った炊き出しを学びました。



炊き出しのベスト3はおにぎり、豚汁、カレーです。被災者は最初は食べられるだけでもありがたいという気持ちがありますが、ボランティアは入れ替わり同じメニューが続くこともあります。被災者は何も言いませんが、こんなときはどんな炊き出しが良かったか聞いてメニュー変更できるボランティアがいるといいですね。被災者に寄り添える活動は炊き出しでも大事です。

アルファ化米



アルファ化米の箱の中にはお米はもちろんしゃもじ、50人分のパック、輪ゴム、箸、ビニール手袋まで入っており、お湯か、お水があれば何も用意せずに来るようになっています。



★アルファ化米の作り方(1人前ずつの小袋)
まず、安定するように、袋の底部を広げて開封後、脱酸素剤とスプーンを袋から取り出し、お湯または水を袋内側の注水線まで注ぎ、よくかき混ぜ、袋のチャックを閉める。お湯で15分、水で60分で完成。

ハイゼックスを使った炊き出し

中野区の防災倉庫に備えているかまどを組み立て、炊き出し訓練をしました。燃料は灯油でしたが、様々なタイプがあります。



お米をハイゼックスの袋に入れます。お水も入れ空気が残らないように輪ゴムで硬く閉めます。ペットボトルで作った計量カップ、じょうごを使いました。

かまどを組み立て釜に入れ水を入れ点火します。釜に入れる水は飲料水でなくても良いです。

ハイゼックスの袋に入ったお米をいれ約30分で出来上がります。

参加者の感想

- ・被災時の様々なフェーズの活動のあり方。食事の提供を通して心の安定・満足→人との交流を通して被災者の気持ちを応援する取り組みの大切さを学びました。
- ・炊き出し用具ははじめて見ました。ハイゼックスもはじめて知りました。自分の地域ではどうなっているのか確かめてみたいと思います。
- ・非常に良かった。実際に行うことが今後あると思うので真剣に取り組みました。アルファ化米はあまりおいしくなかったけれど、災害には非常に役立つと思った。
- ・炊き出しの機材の組み立て炊き出しご飯の実習、体験できて良かったです。見ればたやすいことも見るのが、はじめてでは対応できなかったと思います。
- ・単に炊き出しといってもどんな場面でも何を目的になど考えてやることで誰のためかということの大切さをあらためて感じました。

ハイゼックスとは、高密度のポリエチレンのことです。その素材でできた専用の袋で米を炊きます。

ハイゼックスでできた炊飯専用袋

